

た く ほ う



大宅

京都市立大宅中学校

12/24

第8号

人，物，時を大切にし，志ある豊かな心の育成，

自己実現に向けた基礎学力の定着を図る

文責 西村

二期終了，冬休みへ～

いよいよ冬休みです。長かった二期も終了し，お正月を挟んで，最後の期，三期のまとめになります。二期は大きな行事の合唱コンクールや文化祭，チャレンジ体験，ファイナンスパーク学習，ポスターセッション，そして，生徒会役員の改選や部活動の新人戦など目白押しの中で，生徒たちは一つ一つの取組をしっかりと考えて進めてきました。保護者や地域の方々からも合唱コンクールの素晴らしさに大きな称賛が聞かれましたし，チャレンジ体験の事業所からは，大宅中学校の生徒のしっかりとした態度に大きなお褒めいただきました。また，生徒会の学校改善計画では，学校のみならず，地域清掃を提案するなど，本当に真剣に自分たちの学校や地域のことを考えている様子が読み取れました。こうしたことは，一夜にして考えられるものではありません。例えば，地域清掃を考えるようになったきっかけは，岩屋太鼓などに見られるように，生徒会が地域の行事に参加したりすることで，その延長線上に新しい取組という思いで出てきたのではないかと思います。また，合唱の取組にしても，他のクラスの合唱に対して，温かい声援を送る鑑賞態度から，コンクール自体が盛り上がってきているようにも思えます。こうした昨年よりもちょっと上乗せできるようになってきている力が，このような結果につながっているように思います。素晴らしいことです。

こうしたことは当然学習にも影響を与えています。なぜなら，色々な取組を集団としてきっちりできることが，学級集団づくりも生きてくるのです。学習は学習，合唱は合唱と別々のものではないのです。それぞれが相乗効果を発揮してきているように思います。

さて，冬休みは，年末，年始を含む休みとして，ちょっと色合いの違った休みとなります。そこで，休みの過ごし方を考えてもらえればと思います。ちょっと色合いの違った休みといいましたが，それはお正月があるからです。

一つは，年末年始を迎えますから，いろいろと家での手伝いがあります。自分のこととして，整理整頓をするのは当然ですが，家族の一員として，しっかりとできることを取り組んでください。学校生活も家庭生活もその点では同じです。ちょっとした家族への思いやり，気遣いなどが大切です。大きなことはありません。家族の笑顔が生まれることをちょっと考えてみてください。

そして，お正月には，思わぬお金が入ることもあります。お年玉ですが，ちょっといつも違った感覚になります。大きな気持ちなったりすることもあるでしょう。そして，思わぬトラブルに巻き込まれたりすることも多々あります。その使い道とともに，管理をしっかりとすることが大切です。そして，個人懇談で話し合ったことも振り返って，よりよい休みとして下さい。

新しい年を迎えます。1月6日，新たな気持ちで登校することを待っています。

地域とともに

～読み聞かせ～

17日、大宅小学校で読み聞かせを行いました。この活動は、もう10年以上続いている本校の大切な取組となっています。この取組が今や山科全体に広がり、どの中学校も地元の小学校へ出かけています。本校の中学生も小学生の頃に中学生の読み聞かせを体験しています。ゆえに、図書委員会が中心となって進めている取組にも関わらず、ボランティアで参加する生徒も結構います。何より、小学生の頃の思い出や中学生のお兄さんやお姉さんの印象が強かったからかなとも思いますが、小学生のためにという思いを多くの生徒たちが持ってくれていることは嬉しいことです。まさに本校が進める「志」そのものだと思っています。

当日は生徒会と児童会との交流を行われましたが、この冬一番の寒さでしたが、ほんのりと温かさの加わった教室でした。



～餅つき大会～

19日、大宅小学校で、地域の社会福祉協議会の主催の餅つき大会が行われました。本校からも生徒会がボランティアとして参加しました。この餅つき大会には地域の方々が多く参加される一大イベントとなっています。おもちを食べながら、小学生の歌やリコーダーの演奏を聴いたり、小学校のPTAの方々の歌があったりとお楽しみもあり、参加されたお年寄りの方々も一緒に歌っておられました。

生徒会では、地域との交流を進める意見も数多く出ています。清掃活動など具体的にも出てきていますが、こうした地域の取組に参加することは、その橋渡しとというか、その意味でも大切なことだと思います。

参加した生徒会の生徒たちも、おぜんざいに舌鼓を打ちながら、今日の反省とどのようにこのことを全校生徒に伝えるかを話し合っていました。生徒会の先生方の一つ一つの丁寧な指導の下、ここ数年で、生徒会も大きく変化してきているように思っていますが、これが全校にも大きく浸透してきているのが、今の大宅中学校だと思います。

地域とともにある学校として、昨年度は、ふれあいトークを始めましたが、ちょっとした活動なども含めて、生徒たちの目線を大切しながら、進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

